

大分空港海上アクセス運航事業に係る経済波及効果等推計調査結果について

<当初運航期間20年間の県内経済波及効果>

【初期投資】+【ランニングコスト、大分空港への利用転換、観光客数の増】(20年間)

約614.2億円

<推計を行なった項目>

(1) 初期投資(イニシャルコスト) 約49.9億円

- ・ターミナル施設、艇庫、港湾施設、工作物等の整備費用
※船舶、用地・補償費を除く

(2) 運航事業等管理運営費用(ランニングコスト) 約95.4億円

- ・運航事業(人件費、燃料費、修繕費等)、県有施設(設備、港湾施設法定点検等)の管理運営費用

(3) 県外空港から大分空港への利用転換による県内消費額の増加 約57.6億円

- ・ホーバークラフトの導入による県外空港から大分空港への利用転換意向(年間35,167人)
- ・大分空港への利用転換による消費額(飲食費、土産代)の増加

(4) ホーバークラフトを目的とした観光客数の増加 約411.3億円

- ・ホーバークラフトを目的とした大分県への新規来訪意向(年間平均46,960人)
※実宿泊者ベース

- ・開業時インパクトを考慮し、初年度を100とした場合、20年目で40.6%まで逡減すると仮定

【WEBアンケート調査】

海上アクセスの導入による大分来訪時の利用空港の転換やホーバークラフトを目的とした来訪意向等を把握するための基礎データ収集として、WEBアンケートを実施

<調査対象>

関東圏、中京圏、関西圏在住者

<調査期間>

令和2年12月22日(火)~12月25日(金)

<収集サンプル数>

2,752サンプル

<推計利用項目>

- (3) 空港利用転換による県内消費額の増加
- (4) ホーバークラフトを目的とした観光客数の増加